

RISA 会員

正会員 この法人の目的に賛同して入会した個人。
年会費 2,000円

賛助会員 この法人の事業を賛助するために入会した団体。
年会費 6,000円（一口以上）

RISA 会員特典

1. 地域活動の場が提供されます。
2. サロン活動の主宰者又は担当者になることができます。
3. サロンには2割引きで参加することができます

RISA 会員募集

今、これをお読みのあなた。まだ、お勤めは続いていますか。お勤めが続いている方も、既に退職された方も、一度や二度は退職後の過ごし方、何をしようかの計画を考えられたことと思います。

親しんで来た趣味の継続、職業人として過ごした時に学び、そして取得した知識及び技能を活かしてみたいとか。一人で考え思いをめぐらせてみた結果、着地点が見つからないことが多々生じます。私もそうでした。

あなたのこれからの生活の中に、こんなことをしてみたい、あんなことはどうだろうか。そんな思いをおしゃべりにいらっやいませんか。

私共「NPO法人シニア総合研究協会」は、サロンを運営しています。興味を持たれたサロンにぜひご参加ください。

只今、会員を募っています。ご一報をお待ちしています。

お問い合わせは事務局まで。
TEL & FAX: 03-3398-8738

risa

特定非営利活動法人

シニア総合研究協会

住みなれたまちで新しい役割を見つけたい人のために！

ご案内

2019年版



ゆうゆう菫蓮東館とあけぼの杉
大瀧安良/画

risa

NPO法人 シニア総合研究協会(ゆうゆう菫蓮東館内)
〒167-0051 杉並区菫蓮4-23-12 03-3398-8738
homepage: <http://risa.or.jp> e-mail: info@risa.or.jp

RISA とは

RISA(リサ)とは杉並区立「ゆうゆう荻窪東館」を管理・運営している団体名の略称です。団体の正式名「NPO法人シニア総合研究協会」の英文表記が「Research Institute for Senior Activity」であり、単語の頭文字がRISAとなります。

法人名	特定非営利活動法人シニア総合研究協会（略称）NPOシニア総研
英文名	Research Institute for Senior Activity（〃）RISA
所在地	杉並区荻窪4-23-12 杉並区立ゆうゆう荻窪東館 TEL&FAX 03-3398-8738
役員	〈理事長〉 木村健 〈副理事長〉 石岡凱夫 小高久美子 〈理事〉 中村建治（事務局長） 石澤久子 尾崎廣子 長谷川義高島直子 長田正一 河原田美哉子 遠藤富幸 〈監事〉 井戸正一
会員数	約50名
NPO法人設立	2006年1月13日
事業主体	下記「RISAの目的」に沿った事業 杉並区立ゆうゆう荻窪東館の運営と管理
メールアドレス	info@risa.or.jp
ホームページ	http://www.risa.or.jp

RISA 設立の目的

急速に進む高齢化社会にあって我々シニア世代は如何に生きるべきか、特に地域社会においてできることは何か、という基本的問題意識の下に、RISAは次のような目的を掲げて活動しております。

- ① 定年退職前後或いは子育てを終えた世代の人々が、地域社会において新たな役割を発見するのを支援する。
- ② 各種講座（サロン）を通じ、地域社会の住民間の交流を促進する。
- ③ 地域活動を通じ世代間の交流を図る、またそのための人材を養成する。
- ④ 行政、他NPO等との接触を密にし、協働事業等を行うことにより地域住民の生活の質的向上に貢献する。

RISA の活動

- ① 2005年12月、シニア総合研究協会が特定非営利活動法人（NPO）として都知事認証される。2006年1月NPO法人として設立登記する。
- ② 杉並区役所の「官から民へ」の政策により敬老会館再生化企画に応募する。審査の結果2006年4月以降当NPOが「ゆうゆう荻窪東館」の運営／管理を委託される。2015年3月に9年間の受託期間が満了し、2015年4月からの受託が再度認可され、現在に至る。
- ③ 当館運営の施策として(1)コンセプトは「楽しい学びの館」(2)目標として●館利用者を増やす●60歳代の利用者を増やす●男性利用者を増やす。
- ④ そのための施策として「こころ豊かに楽しいサロン」約30のサロン（講座）を実施している。当NPO会員が直接コーディネーター、又は講師を担当している。
- ⑤ 「読み聞かせサロン」「仏像の魅力を楽しむサロン」「ロザリン先生の英語サロン」「フランスの有名作品を原語で読むサロン」「ポップスとカントリーを唄うサロン」「新・ニュース英語サロン」等がある。（「サロン」に関してはリーフレット及び月間リーフレットをご参照ください）
- ⑥ 協働事業「サロン」の実績が認められ2008年以降行政からの助成事業を委託される。
 - (1)「読み聞かせサロン」（地方独立行政法人健康長寿医療センター研究所の助成事業）
 - (2)「NPO活動実践講座」（すぎなみ地域大学の委託協働事業）
 - (3)「認知症予防教室（読み聞かせ入門）」（杉並区役所より委託協働事業）
 - (4)「りぶりんとフォローアップ講座」（文部科学省の助成事業）
- ⑦ 2019年3月地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターより、当館が特徴的なシニアの集いの場の好事例として、全国15k所の一つに紹介された。（ホームページに掲載）
- ⑧ 当館サロン活動の特徴として「参加→継続→習熟→自己表現→地域活動として実践」している。読み聞かせのリーダーとして、保育園、幼稚園、学校等へボランティア活動を展開しているのが、代表的例である。
- ⑨ サロンの発表、自己表現の場、そして交流の場として年一回恒例イベントとして『サロン祭り』を実施している。
- ⑩ 総入館者数は18,354人（対前年+3.6%）と増加し、1日平均利用者数が57.9人となり開館以来最高となった。特にサロン参加者も過去最高の6,747人となり順調に推移している。